

# 市民の合意形成ができる案を提出し直せ！

## - 3小2中統合案の撤回を求める共産党市議団 -

# 週刊 議会報告

日本共産党市議会議員団

発行  
日本共産党市議団  
岡野長寿  
0845-22-2596  
魚谷さとる  
0848-22-2810

9月8日（金）午後1時から岡野長寿市議が日本共産党市議団を代表して一般質問をしました。その様子を報告します。

### 合意形成ができていない案を提出する行政行為は正しくない

岡野市議は、第一に、市教委の学校統合案（土堂・長江・久保3小統合、長江・久保2中統合）には市民の合意形成ができていないこと、できていない案を出すことは行政行為として正しくないことと撤回を求めました。

尾道のど真ん中、玄関口にある土堂小存続の要望は強く、残す方法はいくらかもあるのに（辺地の学校ではないから）、なぜ市民の声を基にした計画が立てられないのか。市民の声を聴く姿勢が弱い平谷市政に原因がありそうです。



一般質問する岡野長寿市議

### 市教委案は文科省の指針に反する。撤回を！

同市議は次に、文部科学省の学校統合に関する手引きを読み上げ、学校統合の基本とされる2つの視点を強調しました。一つは教育的観点、もう一つは街作りの観点、その2つを考えて統合計画をつくりなさいというもの。

中心市街地の活性化という視点からは、駅に近接し、商店街とも連携してきた小学校をなくすことはおよそ考えられないはず。市教委は新しい統合校に街づ

### 市民の共有財産＝公立図書館の指定管理を見直せ！

#### 答弁「指定管理を継続する」

岡野市議は、深刻な少子化が日本社会の存続を危うくしている問題を提起。その根本原因が90年代中ごろから、財界の旗振りで進められた労働法制の規制緩和にあることを指摘。正社員から非正規社員への置き換えが進み、労働者の4割

が不安定な非正規雇用労働者（左図表）を紹介しながら、改善を求めました。結婚して、子どもを産み育てることが困難な社会にしようとしたと自民党政治を批判。藤本市議の一般質問に対する答弁で明らかになった市役所の職員公正のいびつ

### 「東京一極集中の是正と若い女性が帰って来れるようにすることが重要」（市長答弁）

#### あなたができないようにしているのでは？

尾道市の人口がドンドン減っている原因として市長は「若い女性が帰って来ない」ことを挙げましたが、文部科学省の21年度調査

によると、図書館で働く非正規職員の約9割が女性です。民間に運営を委託する指定管理者制度が03年に始まると、コスト削減

くりという観点から何か特別の秘策があるのか聞いてみました。が、街作りとは切り離して考えるという答弁を変えつつも、具体的街作りの関係には全く触れることのできない答弁でした。

文科省の指針には学校配置計画は、行政が一方的に進めるものでないことは言うまでもない。と書かれ、地域コミュニティの核としての性格への配慮が必ずと明記されています。トップダウンのやり方はダメと。

#### 市役所職員の正規・非正規の割合

正規職員 581人  
非正規職員 452人

(平均年収225万円)

#### 非正規職員の内訳

会計年度任用職員 344人  
委託職員 58人  
再任用職員 50人

#### 公立図書館の職員

正規職員 2人  
非正規職員 29人